

住 民 登 録

2月1日現在

人 口	78,403	-37	前月比
男	37,703		
女	40,700		
世帯数	19,311	+30	

# おおだて

編集と発行—大館市役所  
 発行年月日—昭和45年3月1日  
 発行日—毎月1日  
 定価1部5円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

## 2日に1回の出動……

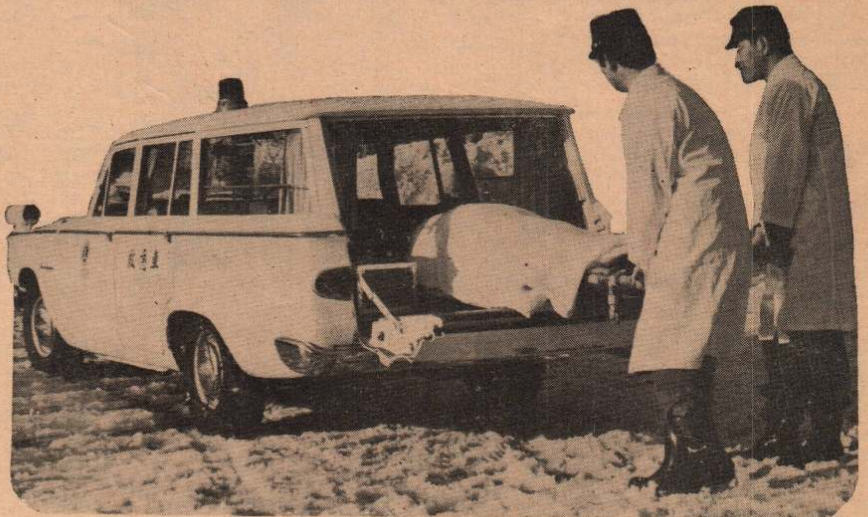
## 44年 救急白書

「119番デスク！祝迎内出張所前デ交通事故ガアリ 運転手が重体デス、救急車ヲオネガイシマス」——

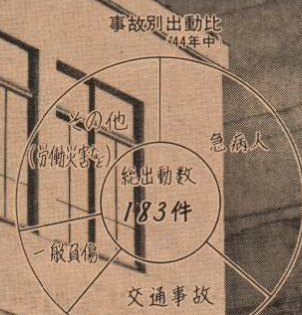
という電話を受けとるやいなや、ケタマシサイレンを鳴らした救急車が、あふれる車をかきわけて現場に直行する。現場に到着と同時に、テキパキと応急手当をほどこし、一刻も早く病院に運ばねばならない乗務員（消防署員）の仕事は重大です。それだけに乗務員の神経の使い様も大変なものがある。

苦しさにわめく声を背に、負傷者の安態を祈りながら病院に手わたすと、ひとまずホッとする。

救急のための出動は、昼夜の別なく要請される。いつでもどこで、どんな事故が発生するかわからない。いわゆる24時間の勤務体制化にある救急車は、市民の安全を守るため今日も待機しつづけている。



(写真) タンカ、酸素吸入器が装置されている救急車



### <急病人のための出動がトップ>

市の救急業務は、40年10月15日、ライオンズクラブから寄贈された救急車の配置によってはじまった。救急業務を開始してから、44年までの出動回数および搬送人員は左の線グラフに表われているように、年を追うごとに急上昇してきている。

まず、44年中の救急白書から、どんな事故に出動しているかを調べてみると、つぎのような順序になる。

( )内は搬送人員

1位	急病人	72件 (72人)
2位	交通事故	46件 (67人)
3位	一般負傷	20件 (21人)
4位	労働災害	7件 (7人)
5位	自損行為	6件 (6人)
6位	運動競技	3件 (3人)
7位	犯罪	2件 (2人)
〃	水難	2件 (2人)

となっており、その他として、よっぽらのいたずらによる出動などが25件(25人)で、44年中の総出動は183件(搬送人員にして205人)になり月平均の出動回数は15・2回になる。

したがって、2日に1回の割合で救急車が出動している計算になる。

つぎに、月別の出動状況を見ると、一番多い月は7月の27件、つづいて5月の19件、10月の18件、1月と8月の15件の順になっており、一番少ない月は2月の10件という結果がでている。

以上は44年中の救急白書から、その数字をかいつまんで記したものです。現在では急患者のほとんどを市立病院に運んでいるものの、患者の希望もあって、病院の行き先もさまざまであるため、救急業務にたずさわる係員がとまどうことさえあるそうです。

とにかく、交通事故や自分のからだに十分注意し、救急車がヒマでアクビをしているような日々が多くあることを祈りたい。

火 事 救 急 車 → 119 番 へ